

道の駅と地方創生

足柄・金太郎のふるさと（令和2年6月26日オープン）

神奈川県南足柄市 環境経済部 産業振興課

1. 道の駅とは

「道の駅」は、安全で快適に道路を利用するための道路交通環境の提供、地域のにぎわい創出を目的とした施設で、「地域とともに作る個性豊かなにぎわいの場」を基本コンセプトとしている。

「道の駅」は24時間無料で利用できる駐車場、トイレなどの「休憩機能」、道路情報、観光情報、緊急医療情報などの「情報提供機能」、文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設で地域と交流を図る「地域連携機能」の3つの機能が備わっている。

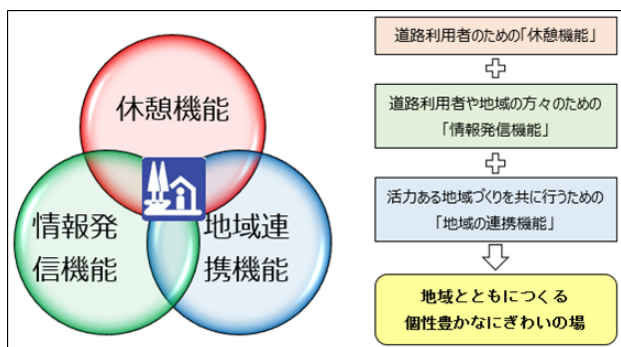
また、駅ごとに地方の特色や個性を表現し、文化などの情報発信や様々なイベントを開催することで利用者が楽しめるサービスも提供している。（引用：全国道の駅連絡会 HP）

平成5年の創設以来、全国展開とともに「道の駅」の役割は進化しており、『通過する道路利用者のサービス提供の場』から『道の駅自体が目的地』となった。

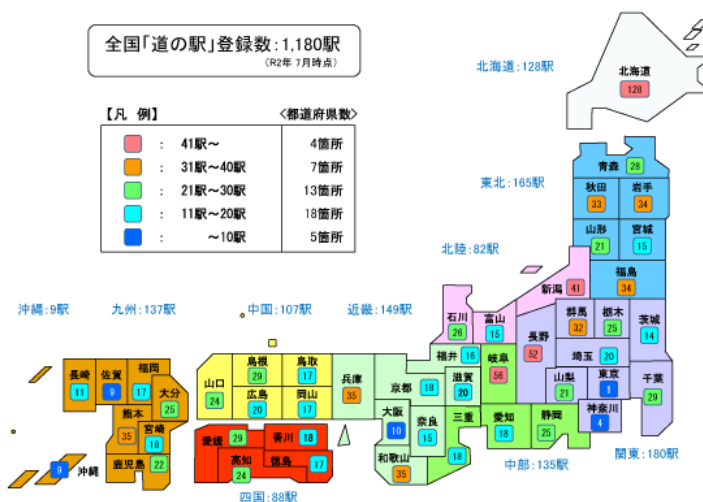
「道の駅」は国土交通省道路局により登録され、令和2年7月1日に発表された「道の駅」第53回登録により全国1,180箇所で開催されており、全体での年間売上高は約2500億円を超え、2億人以上が利用している。



道の駅全景



3つの機能



道の駅一覧：国土交通省 HP

2. 南足柄市について

南足柄市は神奈川県西端に位置し、西は多くの自然と文化財を数多く残す、明神ヶ岳をはじめとした箱根外輪山の一体であり、東は富士フィルム株式会社の進出とともに発展した工場や市街地となっている。

年間を通して緑豊かな自然に恵まれ、温暖な気候という恵まれた環境にあるため、柑橘類、茶などの特産品はもちろん、米、しいたけ、栗やヤマメといった幅広い農林水産物が生産されてきた。市域面積の約7割が山間部、森林であり、豊かな自然に支えられた昔ながらの里地里山が残されている。

南足柄市は万葉の時代から足柄古道や矢倉沢往還など街道の要衝として栄え、古刹大雄山最乗寺や金太郎伝説をはじめとする文化、史跡及び伝説などが残されている。

また、東名高速道路、一般国道1号及び一般国道246号などの主要幹線道路に近接し、小田原駅から大雄山線で約20分の距離にあるなど交通網に恵まれ都心からアクセスしやすい立地である。



南足柄市位置図

3. 道の駅整備に向けた取り組み

神奈川県では、平成25年度に「南足柄市と箱根町を連絡する道路」^{※1}が事業着手し、平成26年2月「道の駅かながわ」^{※2}が設置され、同年3月、県西地域活性化プロジェクト^{※3}を策定した。

これらを受け、平成24年から始動した「大型直売センター」は、(仮称)「道の駅 金太郎のふる里」として平成26年9月に再スタートすることになった。

道の駅登録に向けて、神奈川県の「道の駅相談窓口」や「道の駅支援検討会議」からアドバイスを受け、平成31年1月には重点「道の駅」候補^{※4}に選定され、令和2年3月13日に発表された「道の駅」第52回登録により、全国応募により名称決定した「足柄・金太郎のふるさと」が、神奈川県内で4番目の「道の駅」に登録された。

道の駅足柄・金太郎のふるさとは、県西地域のゲートウェイとして、農業を核に市内の産業の振興を図り、交流によるにぎわいを創出することで、地域の活性化を実現することを目指している。

※1 南足柄市と箱根町を連絡する道路

「南足柄市と箱根町を連絡する道路に関する研究会」により、周辺地域の回遊性を高め、観光振興をはじめとする地域活性化を図るとともに、災害に強い地域づくりを図ることを目的に、平成18年度からルート検討してきた

※2 道の駅かながわ

道の駅の実現に向けて取り組む市町村の支援を目的に、道の駅の整備を効率的・効果的に促進するため、市町村が気軽に相談できる「道の駅相談窓口」や関係者が助言・指導などを行う「道の駅支援検討会議」を設置

※3 県西地域活性化プロジェクト

県西地域活性化推進協議会（会長 神奈川県知事）が推進する「成長する計画」。豊富な地域資源を持つ県西地域を「未病の戦略的エリア」に位置づけ、「未病の改善」をキーワードに各地域の魅力をつなげて新たな価値を創出し、地域の活力を生み出すことで、県西地域を「未病の戦略的エリア」として、全国、世界に向けてアピールする

※4 重点「道の駅」候補

地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的な取組が期待できるものとして、国土交通省地方整備局長等が選定する。他に、国土交通大臣が選定する、重点「道の駅」、特定テーマ型モデル「道の駅」、全国モデル「道の駅」がある

4. 道の駅 足柄・金太郎のふるさと 施設概要

【敷地規模】 敷地面積約 5,840 m²

【建物規模】 建築面積 1,168 m²、延床面積 782 m²

【駐車場】 小型車 65 台、大型車 8 台、身障者妊婦用屋根付 2 台

【トイレ】 男：(小) 8 器、(大) 3 器

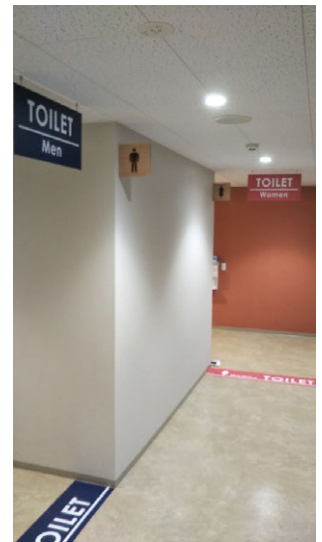
女：12 器

多目的 1 箇所

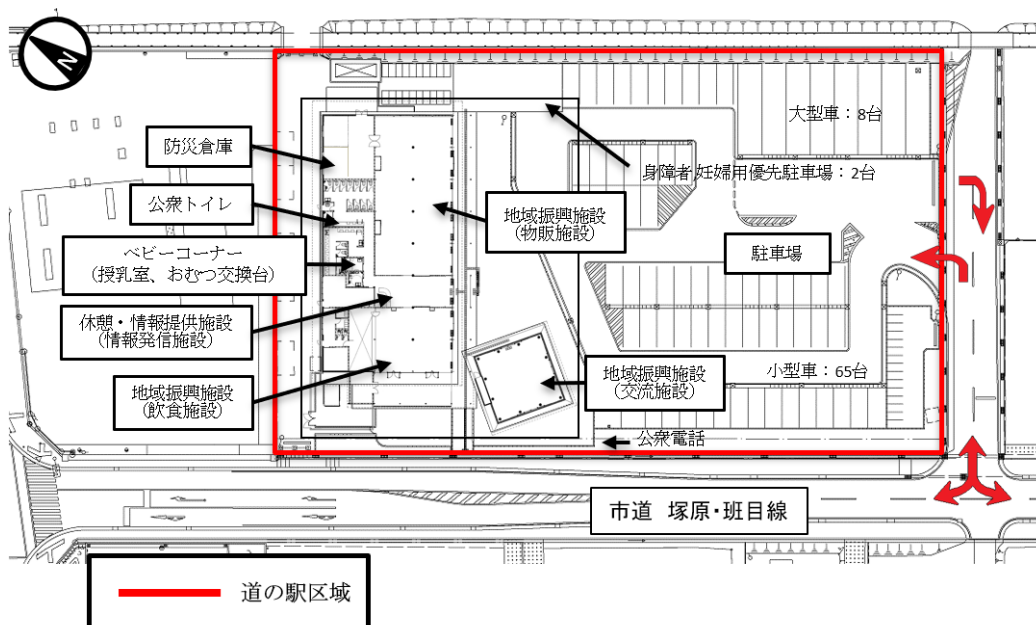
○物販施設 地元生産者様から毎日届く新鮮な野菜や果物、卵、お惣菜をはじめ、足柄茶、金太郎をテーマに開発したオリジナル商品を多数販売

○飲食施設 特産品「相州牛」をはじめ、「やまゆりポーク」「かながわ鶏」を使用したオリジナルの創作グルメや「足柄茶」を使った茶そばの他、足柄茶ソフト、足柄茶クリームパフェなどスイーツも販売

○交流施設 屋内イベントなどの多目的利用



トイレ



施設平面図



交流施設



情報発信施設



物販施設 1



物販施設 2



物販施設 3



飲食施設

5. 「道の駅」は第3ステージへ

国土交通省は、創設から四半世紀が経過した「道の駅」について、2020年からの新たなチャレンジとして、「道の駅」第3ステージ推進委員会を設置。「道の駅」は『地方創生・観光を加速する拠点』として、観光や防災などの取り組みを、官民の力を合わせて加速させることとしている。



道の駅第3ステージ：国土交通省 HP

道の駅足柄・金太郎のふるさとにおいても、『古刹大雄山最乗寺や金太郎伝説を活かしたインバウンド』、『備蓄倉庫や非常電源を整備、地域防災計画への位置付け』、『24時間利用可能な授乳室による子育て支援』により、新しい「道の駅」に対応するとともに、ニューノーマルに則した地域社会の拠点として、行政と地域、指定管理者が一体となった運営に取り組んでいく。

**南足柄市内のスポットを巡りつつ、箱根観光とセットで。
皆様のご来訪を心よりお待ちしております**

